

# 廃校防災キャンプ

～楽しいから始まる防災の意識～

橋倉 田中 鈴木 平石

# 目次

1. 今までの活動について
2. 私たちの考えた企画（中間）
3. 私たちの考えた企画（最終）
4. 中間からの変更点
5. まとめ・結論

## ①今までの活動について：提案理由①

伊勢市が取り組んだアンケート

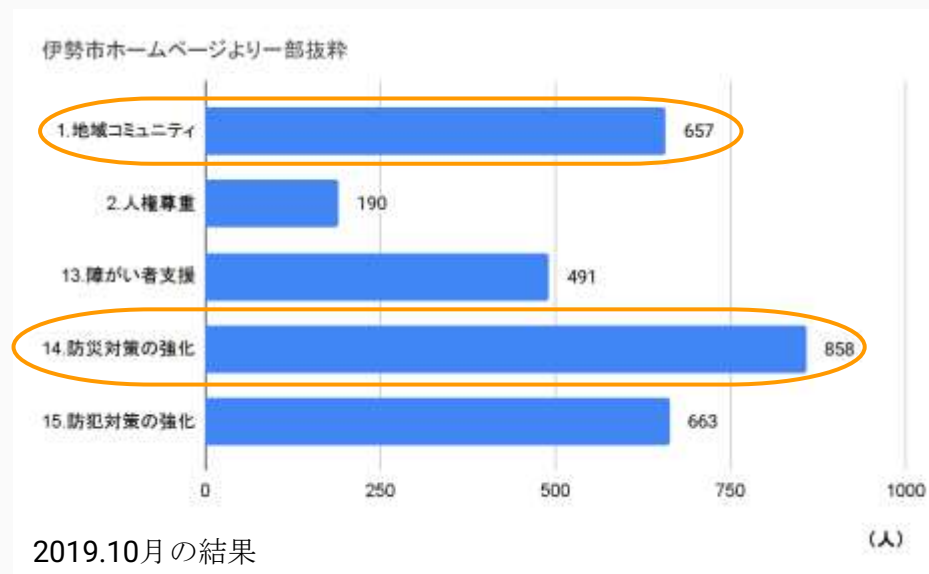
「伊勢市が今後、特に力を入れて取り組むべき政策はどれか」

という質問に対して、

「1.地域コミュニティ」

「14.防災対策の強化」

に毎年多くの票が入っている



## ①今までの活動について：提案理由②

先輩方の案「廃校でキャンプ」**防災**



「廃校防災キャンプ」

### 廃校でキャンプ

日時:夏休み 14:30～20:00

対象:小学生高学年～中学生(20人)

場所:二見中学校

目的:小学生と中学生の交流を図るため

持ち物:野菜,米1合,500円,同意書

内容:14:30～ 廃校集合,自己紹介,  
15:00～ 海でゴミ拾い  
16:00～ カレー作り  
18:00～ 食事,片付け  
19:00～ 花火  
20:00～ 終了

## ①今までの活動について：1学期に考えた案

- ・ 対象：幅広い年代（高齢者世代から小中学生等若者まで）
- ・ 場所：防災という視点から避難所として設定されている旧神社小学校を使用
- ・ 目的：地域コミュニティの幅広い活性化と防災意識の向上
- ・ 活動：防災に関するワークショップと避難訓練
- ・ 1日の流れ：「1泊」ではなく「半日」で行う

## ①今までの活動について：夏休みの活動

### 親子防災デイキャンプに参加

#### 体験内容

- ・ 防災テントの設営と解体や非常食の実食、胸骨圧迫とAEDの使用など

#### 参加して感じたこと

- ・ 長時間だったが、退屈せずに終始笑顔で体験されていた。
- ・ 参加者は、防災意識が高い人が多かった。

## ①今までの活動：山商生へのアンケート調査①

Q1. 三重県に住み続けるうえで心配なことについてお答えください

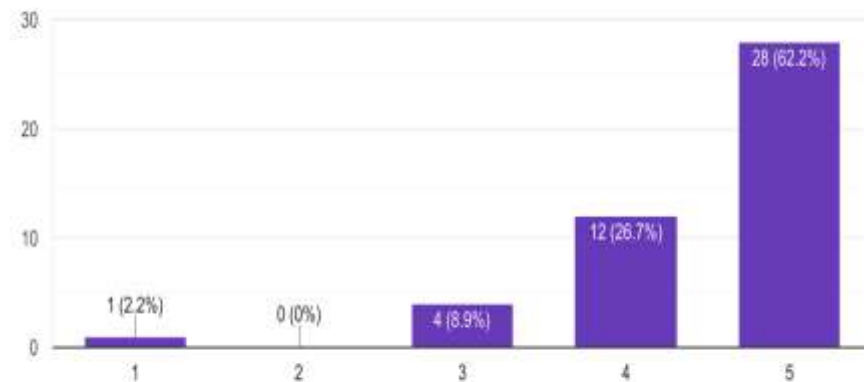
- ・過半数の人が**危険性が高い**と考えている
- ・「危険性は低い」と考えているひとは、**ほぼいない**



回答者全員が南海トラフを危険視している

災害（南海トラフ）の発生危険性について

45件の回答



## ①今までの活動：山商生へのアンケート調査②

### Q2. 防災に関するイベントへの参加したことのない理由は何か

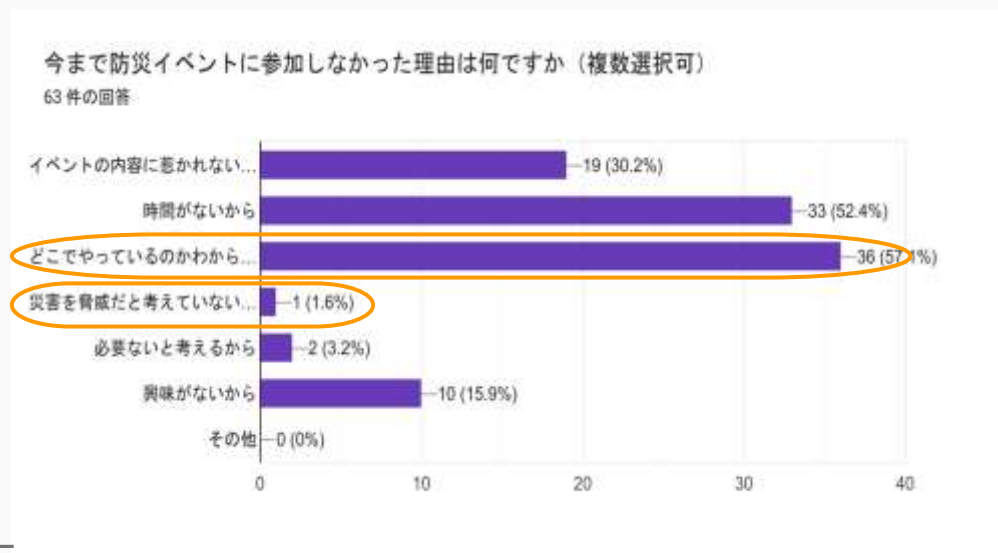
- どこでやっているのかわからない

→ 過半数を占めている

- 災害を脅威だと考えていない

→ ほとんどいない

= 災害は脅威であると認識している。





## ②私たちの考えた企画（中間）：簡単な概要

- ・ 対象：幅広い年代（30人程度の規模を想定）
- ・ 場所：避難所として指定されている旧神社小学校
- ・ 目的：地域コミュニティの幅広い活性化と防災意識の向上
- ・ 活動：避難訓練や避難所運営ゲームHUGなどを予定
- ・ 1日の流れ：14時～19時半を予定

## ②私たちの考えた企画（中間）：問題点・指摘していただいた点①

- ・避難所運営ゲームHUGの進行のために実際に体験したことのある人が必要
- ・世代がある程度自分たちが予想している割合で集まってくれるのか
- ・旧神社小学校が使用可能かどうか確認がとれていない
- ・募集をかける範囲を限定すべきなのではないか

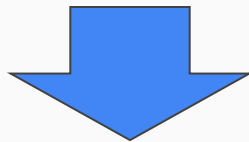
## ②私たちの考えた企画（中間）：解決案①

実際にHUGを体験したことある人が必要



高校生に体験してもらい、運営してもらおう

どれくらい集まってくれるのかわからない



募集する方法を世代ごとでわけろ

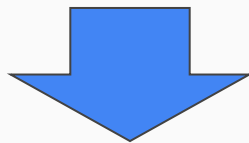
## ②私たちの考えた企画（中間）：解決案②

旧神社小学校が使用可能かの確認がとれていない



藤木さんに協力いただき、確認を取っていただく

募集をかける範囲や地区を限定すべきではないか



開催する地区で限定することにした。

中間発表後にブラッシュアップ!!

### ③私たちの考えた企画（最終）：簡単な概要

- ・ 対象：大湊地区に住む幅広い年代の方々**30名程度**
- ・ 場所：**旧大湊小学校**
- ・ 目的：地域コミュニティの幅広い活性化と防災意識の向上
- ・ 活動：避難訓練や避難所運営ゲーム**HUG**などを予定
- ・ 1日の流れ：**14時～19時半**を予定

「企画の流れ（仮案）」  
をご覧ください。

## ④中間からの変更点：変更した部分をピックアップ

### 体験内容の変更

防災スリッパ作り・紙で食器を作ろう



オリジナルハザードマップ作り・空想避難体験

### 実施場所の変更

旧神社小学校



旧大湊小学校



## ⑤まとめ：提案するイベントを開催するにあたって目的

- ① 地域を限定することによって、**地域コミュニティ**が拡大していくこと
- ② それぞれの地域で**地域ごとに適した避難方法**を知ること
- ③ イベントへの参加を通して**防災意識を向上**してもらうこと
- ④ 近い将来に発生すると考えられている**南海トラフ巨大地震に備える**こと

## ⑤まとめ：これらを企画書にまとめたもの

お手元の「企画書」をご覧ください。

来年度後輩に引き継いでもらい、  
このイベントを開催させたいと考えています。

### 企画書

R6年 1月15日 鹿校活用A定

|        |  |
|--------|--|
| イベント名  | 鹿校防災キャンプ「大湊編」  |
| 日程     | 来年度夏休み頃を予定（後輩への引継ぎにより開催予定）   |
| 場所     | 旧大湊小学校   |
| 目的     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域に適した避難訓練を行うことで被災時に役立つ防災知識を身に付ける。</li> <li>・様々な世代で意見交換する場の提供によりコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>・地域の方々がコミュニケーションをとるきっかけを作る。</li> </ul>  |
| イベント内容 | <p>大湊地区に住む幅広い年代の方々（小学生～お年寄りまで）に30名程度集まっていた頂き、半日の防災ディキャンプを行う。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営ゲーム「HUG」</li> <li>・単品避難を取り入れた避難訓練</li> <li>・制限時間付き避難シミュレーション～ハザードをそえて～</li> <li>・キャンプ形式での夕食作り</li> </ul> <p>避難訓練を行う際、それぞれの世代でスタート位置を変えるなど、よりリアリティのある避難訓練を目指す。</p> <p>避難シミュレーションは前に分かれて行い、「あなたは今の場所において○○分後に津波が来ます。どこへ避難しますか？」という問いに対する答えを地図を見ながら決め、その後ハザードマップと照らし合わせてその場所の安全性を確認する。</p>  |
| 広報活動   | <p>年代別に自分たちの考えた広報活動を行う。</p> <p>小中学生…親世代…チラシ配布（QRコード）<br/>高校生…宇治山田商業生徒の中から数名参加<br/>60代以降の方…大湊自治会の方々への参加呼びかけ</p>   |
| 必要なもの  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・HUGセット（販売を行っているので買うこともできるが高価）</li> <li>・避難訓練用ヘルメット、ライト等</li> <li>・夕食作りのための材料</li> <li>・水道光熱費等施設運用費</li> </ul> <p><b>予算削減案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自作できるものは自分たちで作る（HUGやイベントで使用する道具類）</li> <li>・防災コーディネーターの方にお借りできるものは借りる</li> </ul> <p><b>運営に必要な人数案</b></p> <p>市役所職員：5名                      宇治山田商業高校生（バリエーション）：10名<br/>消防職員・消防団：5名              伊勢汗防災コーディネーター：5名<br/>宇治山田商業高校教員：2～3名</p> |
| その他    | この企画は来年度のビジネス情報管理の授業を通じて開催してもらおうと考えている企画です。  |

地域で備え、未来を造る。

fin.